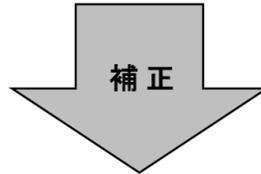


地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

資料②-1

前回提示の見込み量(①~⑤)

事業名	対象	単位	H24実績	H25実績	ニーズ量(推計結果)					補正の方針	
					H27	H28	H29	H30	H31		
①延長保育(時間外保育事業)	0~5歳	人/年	335	393	169	167	166	164	162	【実績よりも少なすぎるのではないかな】 H25実績をもとに、人口の変化率を考慮して補正。	
②アフタースクール (放課後児童健全育成事業)	低学年	1~3年生	人/年	247	243	244	248	241	235	232	適切な見込みと考えられるため補正不要。
	高学年	4~6年生	人/年	27	26	91	89	88	88	89	
③子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライト)	0~5歳(事業の対象年齢は18歳)	人/年	ショート17 トワイライト0	ショート69 トワイライト0	37	37	37	36	36	【実績よりも少なすぎるのではないかな】 H25実績をもとに、人口の変化率を考慮して補正。	
④地域子育て支援拠点事業(児童館)	0~2歳	人/月	5,283	5,756	3,301	3,249	3,195	3,140	3,088	実績(保護者も含む総来館者数)に対し、推計結果(利用するであろう子どもの数)は適切と考えられるため補正不要。	
⑤一時預かり他	幼稚園での預かり保育(1号認定)	3~5歳	人/年	—	—	0	0	0	0	0	本市では実施していないため0となる。適切な見込みと考えられるため補正不要。
	幼稚園での預かり保育(2号認定)	3~5歳	人/年	—	—	10,124	10,019	10,047	10,057	9,894	2号認定(教育ニーズ)が幼稚園を利用した際は、ほぼ全員(H27は40人)が預かり保育を利用すると考えられる。適切な見込みと考えられるため補正不要。(40人×年間250日利用=延べ10,000人)
	預かり保育以外の、一時預かり	0~5歳	人/年	1,431	1,392	13,887	13,706	13,609	13,499	13,278	【実績よりも多すぎるのではないかな】 過去の実績(H24~25)は減少傾向にあるため、大きい方の実績(H24)の実績をもとに補正。



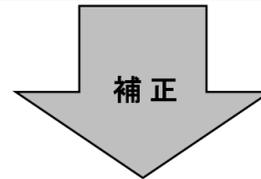
補正後の見込み量(①~⑤)

事業名	対象	単位	H24実績	H25実績	ニーズ量(推計結果)					このニーズ量で設定した場合の定員確保方策 (H27見込み)	
					H27	H28	H29	H30	H31		
①延長保育(時間外保育事業)	0~5歳	人/年	335	393	383	378	375	372	366	各保育所での受け入れにより、ニーズに対応する。	
②アフタースクール (放課後児童健全育成事業)	低学年	1~3年生	人/年	247	243	244	248	241	235	232	【アフタースクール定員 363人】 ⇒定員確保できる
	高学年	4~6年生	人/年	27	26	91	89	88	88	89	
③子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライト)	0~5歳(事業の対象年齢は18歳)	人/年	ショート17 トワイライト0	ショート69 トワイライト0	67	66	66	65	64	児童養護施設等と連携しながらニーズに対応する。(本市は9施設と契約)	
④地域子育て支援拠点事業(児童館)	0~2歳	人/月	5,283	5,756	3,301	3,249	3,195	3,140	3,088	3児童館(やしろこどものいえ、きらら、鯉こいランド)でニーズに対応する。	
⑤一時預かり他	幼稚園での預かり保育(1号認定)	3~5歳	人/年	—	—	0	0	0	0	0	ニーズがないため、確保方策は不要。
	幼稚園での預かり保育(2号認定)	3~5歳	人/年	—	—	10,124	10,019	10,047	10,057	9,894	認定こども園(幼保連携型、幼稚園型)の普及により、ニーズに対応する。
	預かり保育以外の、一時預かり	0~5歳	人/年	1,431	1,392	1,431	1,431	1,431	1,431	1,431	各保育所での受け入れにより、ニーズに対応する。

地域子ども・子育て支援事業の量の見込み

前回提示の見込み量(⑥~⑩)

事業名	対象	単位	H24実績	H25年	ニーズ量(推計結果)					補正の方針
					H27	H28	H29	H30	H31	
⑥病児病後児保育 ファミリー・サポート・センター(病児・病後児)	0~10歳	人/年	—	—	3,139	3,098	3,076	3,051	3,001	【多すぎるのではないか】 近隣で病児・病後児保育を実施している三木市(過去3年間)と西脇市(過去5年間)の利用数の平均を、加東市の0~10歳の人口規模に合わせて補正した結果、三木市286、西脇市62となった。 都市の規模から、西脇市の状況に近くなることが予想されるため、H27は100に設定。事業の周知とともに利用が増えるものとして補正。
⑦ファミリー・サポート ・センター	低学年	1~3年生	1,015	1,096	152	154	150	146	144	【実績よりも少なすぎるのではないか】 過去の実績の最大値(H25 1,096人)を基に、人口の変化率を考慮して補正。
	高学年	4~6年生			472	459	456	454	462	
⑧利用者支援事業	0~11歳	箇所	—	—	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	適切な見込みであり、補正不要
⑨乳児家庭全戸訪問事業	0歳のいる世帯	人/年	359	378	355	349	343	337	332	H24の実績から推計 ⇒ H25の実績からの推計に補正
⑩養育支援訪問事業	養育支援が必要な家庭	人/年	119	63	116	114	114	113	111	H24の実績から推計 ⇒ H25の実績からの推計に補正
⑪妊婦健診	妊婦	人/年	379	364	355	349	343	337	332	H24の実績から推計 ⇒ H25の実績からの推計に補正



補正後の見込み量(⑥~⑩)

事業名	対象	単位	H24実績	H25実績	ニーズ量(推計結果)					このニーズ量で設定した場合の定員確保方策 (H27見込み)
					H27	H28	H29	H30	H31	
⑥病児病後児保育 ファミリー・サポート・センター(病児・病後児)	0~10歳	人/年	—	—	100	120	140	160	180	病児病後児施設を新設しニーズに対応する。 (例)3病床で年間200日稼働させれば、600人までのニーズに対応できる。
⑦ファミリー・サポート ・センター	低学年	1~3年生	1,015	1,096	267	264	262	260	255	今後も事業を実施し、ニーズに対応する。 ※H25会員数・・・依頼会員 172人、協力会員 56人、両方会員 45人
	高学年	4~6年生			801	790	784	778	766	
⑧利用者支援事業	0~11歳	箇所	—	—	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	子育て支援課に担当者を配置する。
⑨乳児家庭全戸訪問事業	0歳のいる世帯	人/年	359	378	366	363	359	354	352	市(健康課、子育て支援課)において、実施する。
⑩養育支援訪問事業	養育支援が必要な家庭	人/年	119	63	61	61	60	60	59	市(子育て支援課)において、実施する。
⑪妊婦健診	妊婦	人/年	379	364	353	350	345	341	339	市(健康課)において、実施する。(妊婦健康診査費用の助成)